

第2章 前計画の進捗状況

第7次計画の計画期間は、平成23年度から平成27年度までです。ここでは、平成27年度の目標値に対し、実績データの推移と照らし合わせ、これまでの進捗状況と今後の達成見込みについて整理しました。

表5 第7次計画の目標値と進捗状況

区分		実績		目標までの進捗率 (平成25年度)	目標値
		平成20年度	平成25年度		平成27年度
一般廃棄物	1人1日当たりの生活系ごみ排出量 (g/人・日)	698	653	80%	642
	事業系ごみ排出量 (千t)	602	543	48%	478
	1人1日当たりの最終処分量 (g/人・日)	65	49	160%	55
産業廃棄物	最終処分量 (千t)	209	194	38%	169
	最終処分率 (%)	1.6	1.7	▲33%	1.3

- ※ 1人1日当たりの生活系ごみ排出量とは、生活系ごみ排出量を年間日数と計画収集人口で割った値である。
- ※ 1人1日当たりの最終処分量とは、最終処分量を年間日数と計画収集人口で割った値である。
- ※ 最終処分率とは、ごみ総排出量に対する最終処分量の割合である。

1 一般廃棄物

(1) 1人1日当たりの生活系ごみ排出量

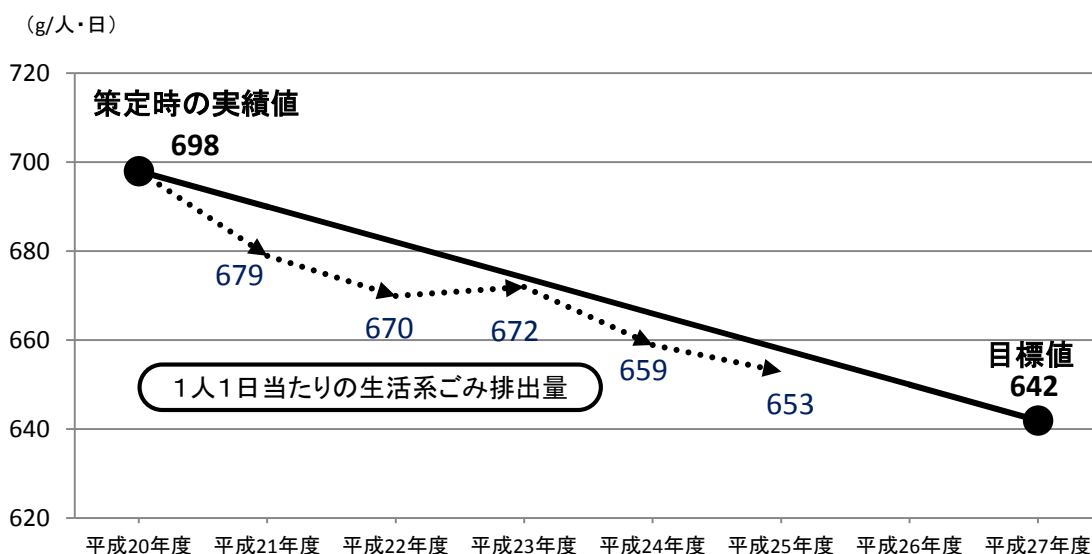


図 25 1人1日当たりの生活系ごみ排出量の推移

1人1日当たりの生活系ごみ排出量の推移は、順調に減少を続けており、平成25年度実績データの進捗状況は目標値に対し80%まで達成されています。期間内に目標を達成できる見込みです。

(2) 事業系ごみ排出量

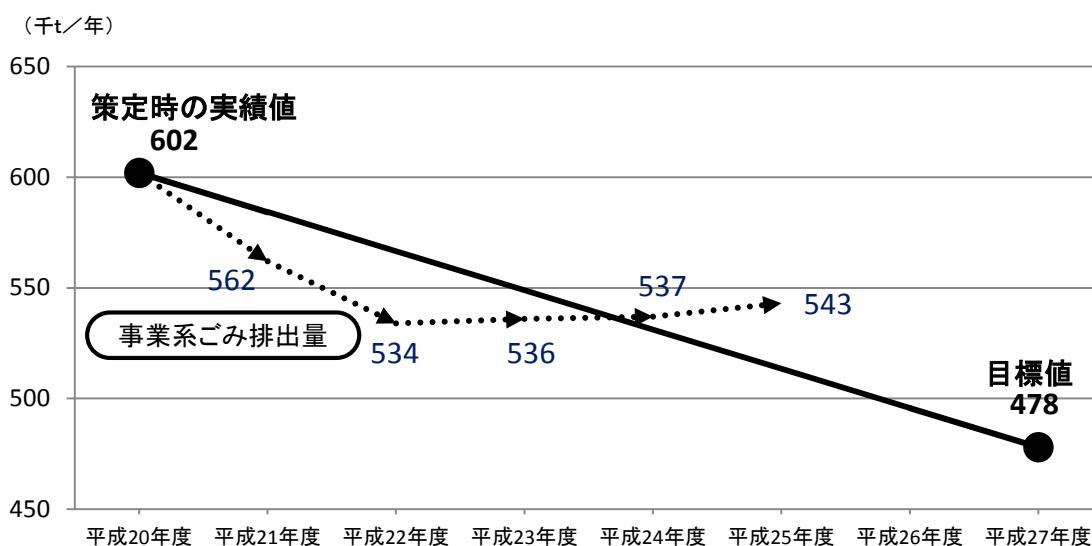


図 26 事業系ごみ排出量の推移

事業系ごみ排出量は、平成 22 年度まで減少傾向にありましたが、平成 23 年度以降ほぼ横ばいで推移しています。目標値までの進捗状況は 48%で、残り 2 年間で目標を達成できるか、厳しい状況です。

(3) 1 人 1 日当たりの最終処分量

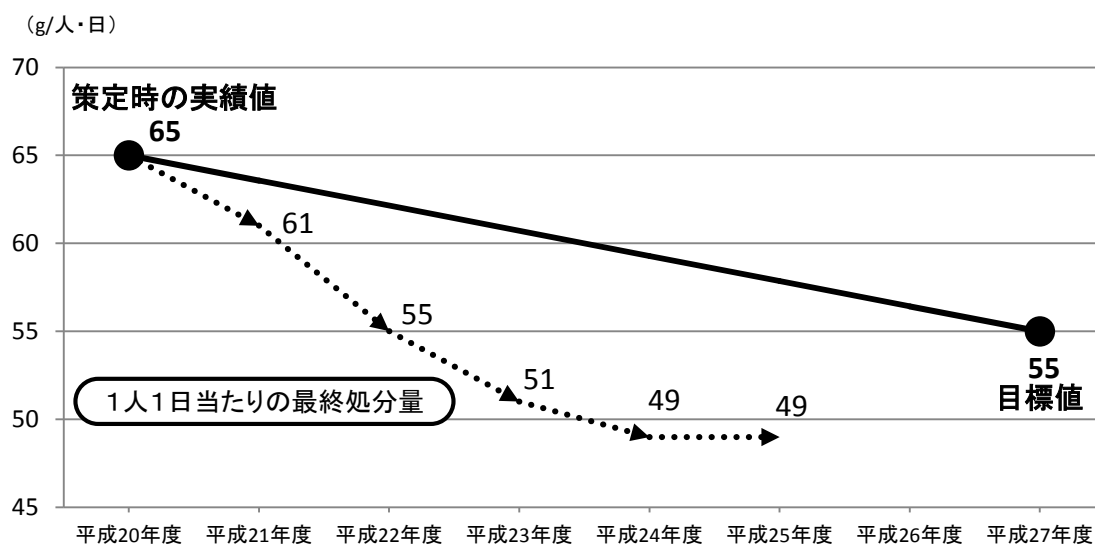


図 27 1 人 1 日当たりの最終処分量（一般廃棄物）の推移

1 人 1 日当たりの最終処分量は、目標値である 55g/人・日に対し、平成 25 年度の実績データは 49g/人・日と、既に目標値を達成しています。一般廃棄物の最終処分量が大幅に増える要素も今のところなく、このまま目標を達成できる見込みです。

2 産業廃棄物

(1) 最終処分量

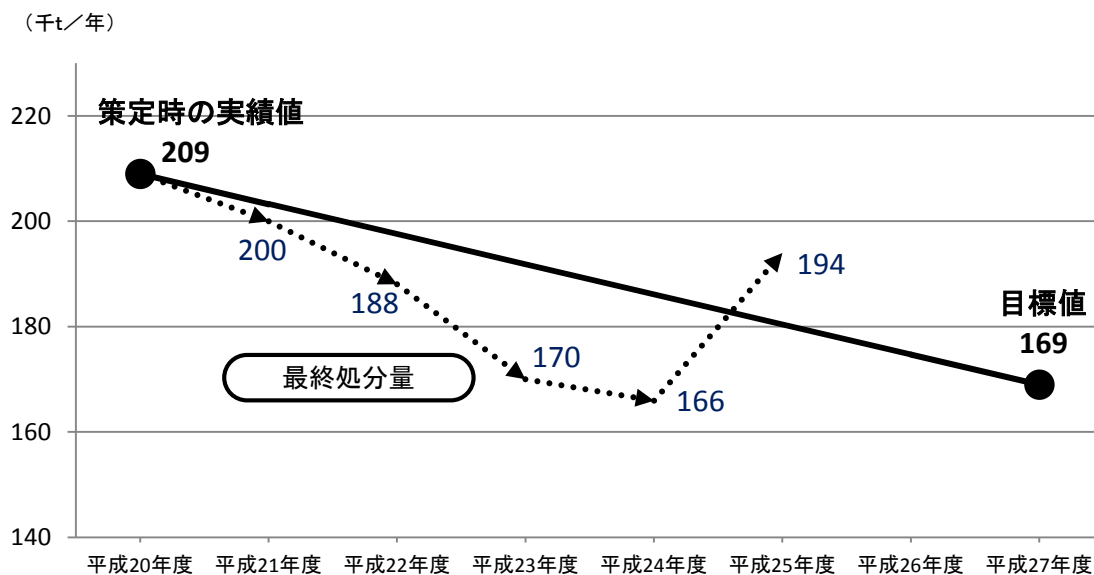


図 28 最終処分量（産業廃棄物）の推移

最終処分量は、目標値の 169 千トンに対し、平成 25 年度実績データは 194 千トンで、進捗率は 38%です。東日本大震災の影響により、これまで再生利用されていた大量の汚泥が最終処分に回されたことが、最終処分量の減量が進まない主な原因です。汚泥の再生利用の進捗が、今後、目標達成の可否の鍵となります。

(2) 最終処分率

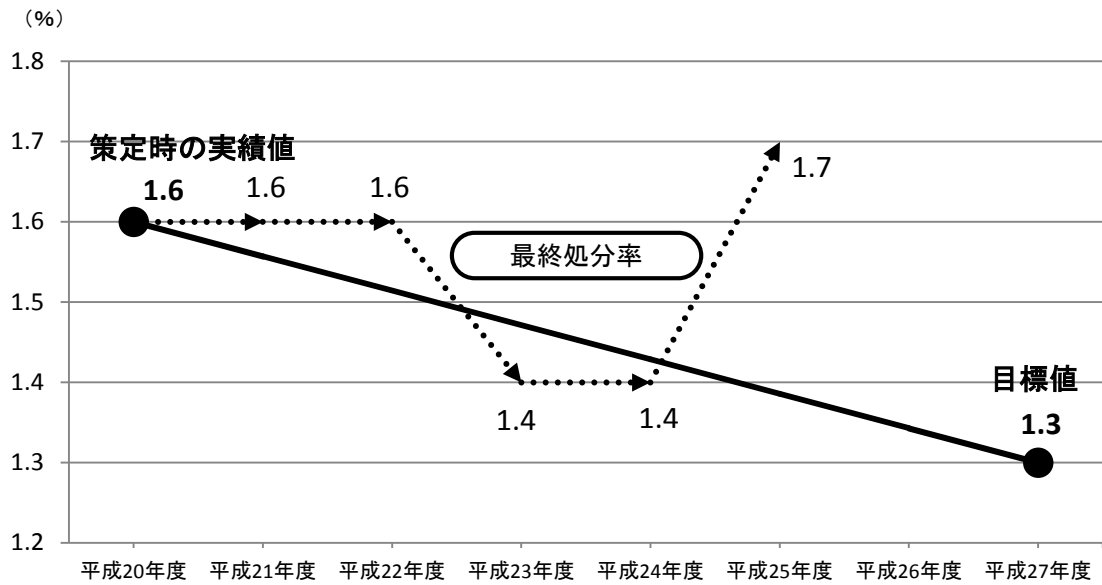


図 29 最終処分率（産業廃棄物）の推移

最終処分率とは、排出量に占める最終処分量の割合のことで、排出量の減少が進む中、その減少率以上に、最終処分量を減らしていかなければ、目標を達成することはできません。しかし、前述のとおり、大量の汚泥が最終処分に回されたことにより、平成 25 年度実績データでは、大幅に上昇しています。最終処分量同様、汚泥の再生利用が、今後、目標達成の鍵となります。